

農作物のダイオキシン類調査結果について

1 趣旨

県では地元田子町からの強い要望を受け、平成15年度より田子町の主要な農作物である米、枝豆、にんにくの安全性を確認し、風評被害を未然に防止するため、それぞれ3地点で収穫されたものについて、ダイオキシン類調査を実施しています。

2 調査結果

平成15年度以降の調査結果は次のとおりであり、これまで国(農林水産省)が全国で実施して公表した調査結果などと比較して、十分に低い値でした。

(1) 米(精米)

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成19年度	平成18年度	平成15～17年度
熊原川上流域	0.0000011	0.0000071	0～0.0000090
不法投棄現場付近	0.0000020	0.000018	0～0.0000080
熊原川下流域	0.0000074	0.0000060	0～0.0000020

実測濃度が定量下限未満の値は、0として算出している(以下同様。)

(2) 枝豆

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成19年度	平成18年度	平成15～17年度
熊原川上流域	0.00015	0.00079	0～0.00021
不法投棄現場付近	0.0021	0.00034	0～0.000014
熊原川下流域	0.00089	0.00080	0～0.000011

(3) にんにく

(単位: pg-TEQ/g-wet)

採取地点	平成19年度	平成18年度	平成15～17年度
熊原川上流域	0.00016	0.000095	0～0.014
不法投棄現場付近	0.00071	0.000071	0～0.0000090
熊原川下流域	0.00019	0.000039	0～0.000051

【参考】

公表されている国(農林水産省)が実施した農作物のダイオキシン類調査結果

(単位: pg-TEQ/g-wet)

作物名	濃度範囲 (平均値)
水 稻	0.000029～0.011 (0.0022)
枝 豆	0.000098～0.0040 (0.0020)

水稲 平成17年度畜産物及び農作物に係るダイオキシン類実態調査(21検体)

枝豆 平成14年度農用地土壌及び農作物に係るダイオキシン類実態調査(2検体)

にんにく なし